

議会のあり方調査特別委員会 条例等検討分科会 記録

開会年月日	令和3年8月23日
開会時刻	午前10時30分
閉会時刻	午前10時43分
出席委員名	◎福井輝夫 ○辻 孝記 中村 功 上村和生
	世古 明 藤原清史 宿 典泰 世古口新吾
	浜口和久 議長
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	森田晃司
協議案件	1 事務局体制の強化・充実について
	2 その他の事項について（予算・決算審査のあり方について）
説明者	奥野議事係長、森田書記

会議の概要

福井会長が開会を宣告。その後、直ちに会議に入り、「事務局体制の強化・充実について」及び「その他の事項について」として「予算・決算審査のあり方について」を議題とし、協議を行い、分科会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

協議の内容

1 事務局体制の強化・充実について

本件については毎回協議題として上げることとし、何もなければ次に移るということが確認されているが、特に発言はなく、この程度とした。

2 その他の事項について

「予算・決算審査のあり方について」、前回の会議で9月定例会中に方向性を出すことが了承されたことを再度確認し、各会派へ持ち帰りとなっていたため、委員に発言を求めたが、特に発言はなかった。会長から「改選後のいつからいつまでの分を決めるのか確認したい」旨の提案があったが、下記のとおり発言があり、時期は決めないこととなった。その後、審査方法について採決を行ったところ、「分科会方式を継続する」が賛成多数となり、今後、本件については企画調整部会及び全体会に報告することが確認された。

【発言】

- ・宿 委 員「新しい議会のメンバーはどのようになるのか分からない。4年間を決めることは今までもしていない。あくまで最小限度を決めて、来年新しいメンバーの委員で確認しては」
 - ・中 村 委 員「本件については次の新しい議会が決めるものであって、今回は参考に方向性を出すだけ。(新しいメンバーで) ひっくり返る可能性もある。あまり年数を決めないほうがいいのでは」
 - ・世古口委員「当分の間ということで方向性を出せばどうか。改選後、臨機応変に変えていけばよい。何がなんでも固定していく必要はない」
 - ・福 井 会 長「期間を決めてスタートした場合、その後振り返りを行い再検討することが当然出てくる」
- ⇒中 村 委 員「方向すらも新しい議員が嫌と言えば変わるわけなので、1年であろうが、あくまでも新しい議員が決めるものであって、決めやすいように方向性を出すだけではないか」
- ・藤 原 委 員「以前の会議で2年目以降はという意見があったが、新しいメンバーになってから、不都合が出てきたときにまた考えればよい」

上記署名する。

令和3年8月23日

会 長